

2020年基準消費者物価指数 外国パック旅行費指数の取扱いについて

令和6年2月6日
総務省統計局
物価統計室

現在の対応状況

現在の対応状況

統計局ウェブサイトにおいて、次のとおり案内（URL：<https://www.stat.go.jp/data/cpi/4-1.html#Z2>

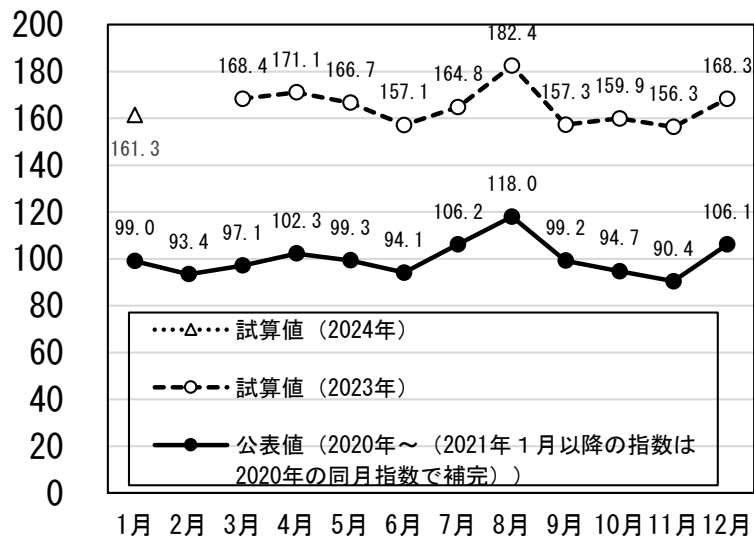
外国パック旅行は、新型コロナウイルス感染症の影響により、出発日までに順次催行が中止されていますが、…（中略）…催行中止の長期化に伴い、販売が停止または大幅な縮小となるなど、安定的な価格収集が困難になったため、2021年1月以降の当面の間は、1年前（2020年）の同月の「外国パック旅行費」指数を代入して補完することとしています。



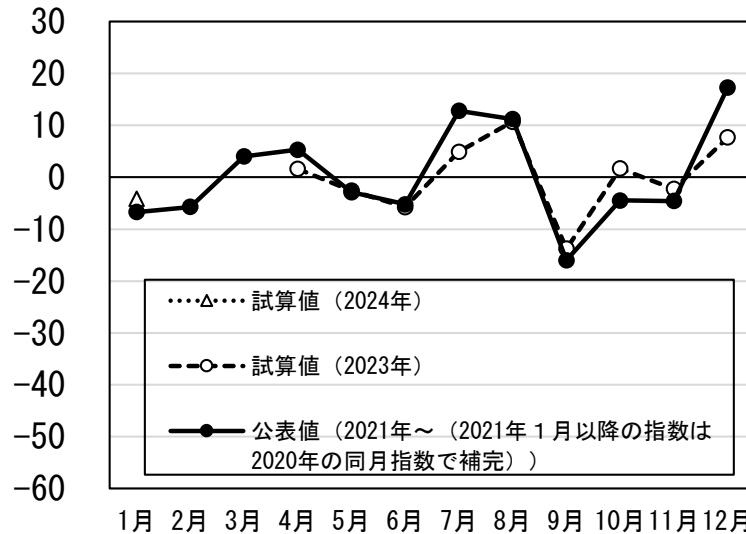
- 2023年3月以降、ウェブスクレイピングにより、価格データが継続的に収集できていることを確認

試算結果

外国パック旅行費指数



外国パック旅行費指数 (前月比)



【試算の際の条件】

- 価格
出発日の2~7か月前の各月に収集した価格を使用
- 内部ウェイト
2020年基準当初の内部ウェイト（現行ウェイト）をそのまま使用

- 指数の状況：2020年を100として、約160~180の水準
- 前月比：過去の前月比とおおむね符合

接続方法について

- ・ 現行の公表値（補完値）とウェブスクレイピングにより収集した価格を用いて作成した指数（以下、「収集価格を用いた指数」という。）の接続方法としては、以下の①と②が考えられる。留意点等は下表のとおり。

- ① 直接接続
- ② 収集価格の前年同月比を反映した接続

	① 直接接続	② 収集価格の前年同月比を反映した接続
特徴	<ul style="list-style-type: none">・ <u>切替後の指数水準が、現在の外国パック旅行費の価格を反映した水準となる。</u>→ 10年前との比較など、長期的な分析に有効	<ul style="list-style-type: none">・ <u>切替後の前年同月比には、2023年同月から2024年当月までの1年間の物価変動が反映される。</u>→ 毎月勤労統計、家計調査等のデフレーターとしてより適切※家賃更新等、1年単位の価格更新などへの利用もあると考えられる。
留意点	<ul style="list-style-type: none">・ <u>切替後の前年同月比が、1か年の変化ではなく、2021年から切替時までの複数年の変化を含むものとなる。</u>→ 外国パック旅行費の前年同月比、上位類指数へ前年同月比に対する寄与度が過大となる。・ 少なくとも2023年になってから急激に価格が上昇したのではないと推察される。	<ul style="list-style-type: none">・ <u>切替後の指数水準は、現在の外国パック旅行費の価格水準より低くなる。</u>